



社会福祉法人 今川学園  
今川学園園長 篠瀬実千代  
平成 29 年 2 月 3 日

厳しい寒さの中でも、元気いっぱいな子どもたちですが、低温・低湿の冬は、ウイルスが大好きな季節です。病気を寄せつけない丈夫な体作り、環境作りに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。

### 「かぜ」は油断大敵

鼻やのどにウイルスや細菌が感染し、炎症を起こすものの総称を「かぜ症候群」といいます。軽く済むことも多いのですが、油断をすると悪化して、中耳炎、肺炎、気管支炎など、さまざまな病気を併発することもあります。ちょっと体調が悪そうなときは、無理をせず安静を心がけ、長引かせないようにしましょう。日ごろから、規則正しい生活を送ることもたいせつです。

### 着ている衣服で 思いがけない事故に!

#### 事例 1

上着のフードが、ドアノブに引っかかって首吊り状態になり窒息しそうになった。

#### 事例 2

自分でズボンのすそのひもを踏んで転倒、手を骨折した。

#### 事例 3

上着のファスナーを上げるとき首の皮膚を挟んでしまった。



#### ひとことアドバイス

- 衣服が原因による子どもの事故は、上記の事例のほか「靴下やタイツで滑って転んだ」「上着のすそが物に引っかかって転んだ」などがあります。重篤な事故につながることもあるので、衣服は慎重に選びましょう。
- ファード付きの服は、遊ぶときや運動するときは着せないようにしましょう。ズボンや上着のすそにひもが付いている場合は、取りはずすかゴムひもに取り替えるようにしましょう。
- 子どもに服を着せるときには、ファスナーで皮膚を挟んだりこすったりしないよう気をつけましょう。特に小さな子どもには、プラスチック製のファスナー、面ファスナー（マジックテープなど）、スナップ、ボタンなどで留める服を選ぶことをお勧めします。

さぼーとくん



## 1月26日に

### 内科健診がありました

時期的なものもあると思いますが、乾燥肌のお子さんが多く見られました。ただの乾燥だからとほっておくとひどくなり、皮膚トラブルにつながります。しっかり保湿を心がけてください。また、鼻かぜを引いているお子さんも多く見られました。ひどくなるようであれば、早めの受診をお願いします。

異常が見られた子どもさんは個別に担任の方から連絡させていただいておりますが、気になることがあればいつでもお声かけください。



### お子様の衣服によるケガや事故に注意!!

2015年12月に「JIS」で子ども服の紐に関する安全基準が制定されました。日本でも、子ども服の引っ掛かりによる事故が起きていることから制定されたようです。

それ以外でも、フード付きの子ども服を着たお子様が外に出掛けようとした際に、玄関ドアの取っ手にフード部分が引っかかり、お子様の首に巻きついて窒息し、入院したという事例も起きています。身体に合わない大きいサイズのは、裾を踏んだり、袖のもたつきが物にぶつかるなど、運動の妨げになりケガや事故につながることもあります。

園でも友達と追いかけてっこをしていてフードを掴みそうになったり、服についている紐を引っ張って遊んでいたりと、ヒヤッとすることがあります。そのような危険性のある服は園では控えていただき、取り外しのできるフードは取り外して着てください。

着ている衣服による思いがけない事故が起きる可能性もありますのでご協力をお願いします。

★子ども服は可愛さよりも安全性! 愛情の「目」でしっかり確認しましょう

裏ページの内容を参考に、今までの手持ちの服も、チェックし、引っ掛けや巻き込み・はさみこみなどの可能性がある紐やルーフ・リボンなどが無い確認してください。

## 日本工業規格（JIS）で紐の長さや形状を規制

子供の事故を防ごうと、経済産業省は、2015年12月に首周りに垂れ下がった紐を認めないなどとする、子供服の安全性に関する日本工業規格（JIS）を制定しました。これらを受け、子供服メーカーなどが対応に乗り出したということですが、専門家は『子供服を選ぶ時には安全を考えて』と呼びかけています。JISが定められたのは、13歳未満を対象とした子供服で、服についての紐が遊具やドアなどに絡まり、子供が窒息したり転倒したりするのを防ぐために、上着やズボンなどの紐の長さや形状を規制したのです。特に、窒息の危険性が高い頭や首周りについては、フードに付いた引き紐や、首の後ろで紐を結ぶタイプの『ホルダーネック』など、垂れ下がった紐を使った服を規制しました。背中で紐を蝶結びする対応の上着やワンピース、上着やズボンの裾より下に紐が垂れ下がったデザインも認めないということです。ただし、例えばホルダーネックの場合、リング状で垂れ下がらない紐は認められるとのこと。フードも、紐と同様に遊具などに引っかかりやすいと消費者団体などから指摘が有りましたが、フードは今回の規制の対象にはなりません。しかし、JISの附属書に『ドアノブなどに引っかかり首が締め付けられると窒息のリスクが有る』と明記し、注意喚起をしています。

★下記事項は経済産業省より子供服メーカー・消費者等に作られた文章の一部を抜粋しました。  
参考にいただき、手持ちの服の安全性を確認してください。

### ひもの要求事項(具体的事例)

#### ★ 頭部及びけい部の範囲:

年少の子供用衣料:

ひもが付いた衣料をデザイン、製造又は供給してはならない。

年長の子供用衣料:

引きひもは自由端があってはならない。衣料の開口部が最大の場合、突き出たループがあってはならない。ループの円周は150mmを超えてはならない（図1参照）。

年少及び年長の子供用衣料:

ホルターネックひもは、頭部及びけい部の範囲に自由端がないようにしなければならない。（図2参照）

#### ★ 背面の範囲:

年少及び年長の子供用衣料:

衣料の後部から出す又は後部で結ぶ引きひも、装着ひも及び装飾ひもがあってはならない。（図3参照）

○印:許容できる事例    ×印:許容できない事例

図1

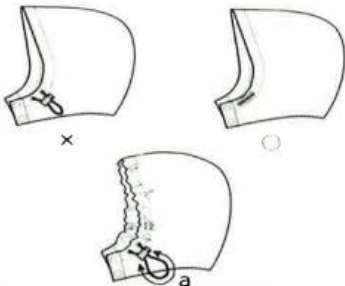


図2

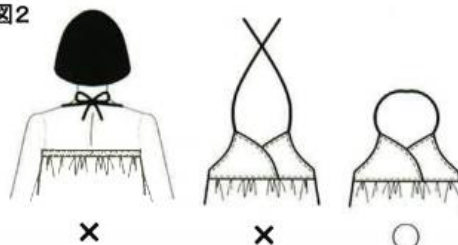


図3



### フードの推奨事項(参考)

力が加わった場合には、本体から外れるようなホック仕様なども有効に活用することが望ましい。